

市民目線で厳しく審査！
令和7年度一般会計予算を可決

916億7,600万円
(前年度比+21億1,100万円、+2.4%)

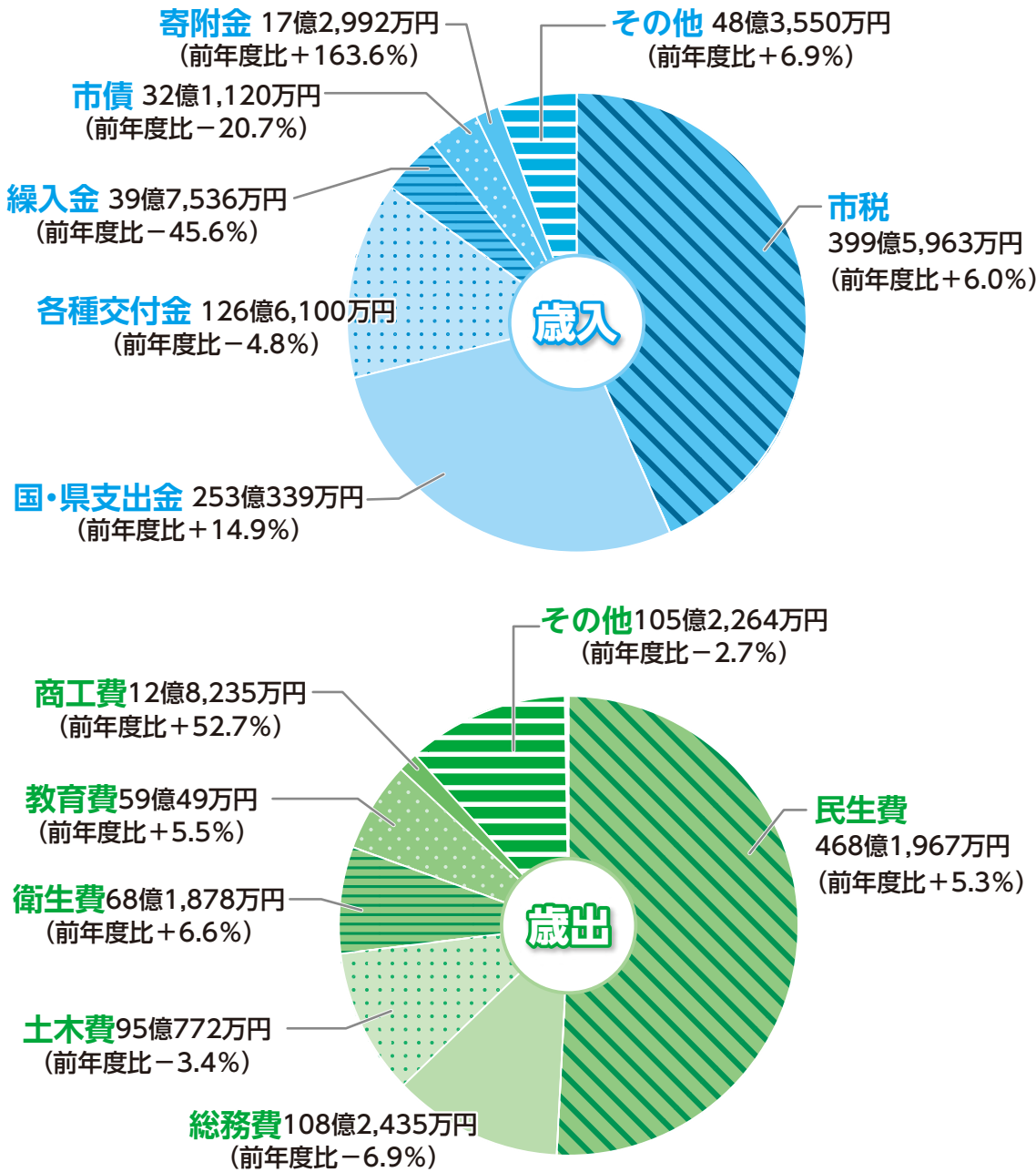
一般会計予算
特別委員会
委員紹介

小川 利八 委員長
田川 浩司 副委員長
堀込 彰二 委員

藤原みどり 委員
菊地 慶太 委員
平野 厚子 委員

金井 俊治 委員
吉岡 健 委員
白石 孝雄 委員

芝野 勝利 委員
佐藤 利器 委員
関 一幸 委員



令和7年度一般会計予算規模は916億7,600万円で前年度比2.4%の増額となりました。

歳出では、人事院勧告に鑑みた賃上げによる人件費、草加消防署の建て替えに伴う負担金、ふるさと納税返礼品の増加による商工費、生活保護費や18歳まで支援対象となったこども医療費、拡充となった児童手当、国民健康保険・介護保険特別会計繰出金等の民生費などが主な増額となっています。

歳入では、税収の根幹である市税収入は399億5,963万円で前年度比22億4,950万円の増収を見込んでいます。ふるさと納税等の増加を踏まえた寄附金は17億2,992万円で前年度比10億7,374万円の増収を見込んでいます。しかし、予算編成のため財政調整基金から34億8,279万円を繰り入れており、厳しい財政状況となっています。

なお、起債発行の減少により、一般会計における市債残高（草加市の借入金）の令和7年度末見込額は約626億円で、前年度比約32億円の減額となる見通しです。

少子高齢化やインフレ経済下、物価、人件費の上昇、金利動向等、時代の変化と市民ニーズを捉え、総合的な観点から事業を行っていくことを求めています。

(仮称) 柿木・青柳エリアグランド
デザインの作成

事業費 456万円

事業の概要

柿木町と青柳八丁目の一部の市街化調整区域におけるまちの将来像と、それを実現するための取組の方向性を具体化した「(仮称) 柿木・青柳エリアグランドデザイン」の作成に向け、柿木・青柳エリアデザイン会議で、地域の魅力や課題、民間事業者との連携などを議論し、令和7年10月頃の完成を目指します。

ギカイの視点

質問 公民連携推進事業の(仮称) 柿木・青柳エリアグランドデザインの、これまでの事業経過と令和7年度の事業内容については？

答弁 (仮称) 柿木・青柳エリアグランドデザイン会議を令和6年度は3回実施。令和7年10月までに、(仮称) 柿木・青柳エリアグランドデザインの作成を進めたい。

誰もが支え合い、叶え合える
地域福祉の構築を

事業費 460万円

事業の概要

これまでの地域コミュニティと、民間の活動などを社会資源として可視化し、支援機関とのつながりを形成し、福祉とくらしの領域を包含する重層的支援体制の充実を図り、誰もが支え合い、叶え合える地域福祉の構築を目指します。

ギカイの視点

質問 委託内容と業者選定方法は？

答弁 業務委託内容は市域調査により新しい地域福祉の担い手となる企業や民間活動等の社会資源を調査・発掘する活動を行うとともに、対話型啓発講演会やワークショップ等を実施し、地域福祉のプラットフォームの在り方のデザイン、提案、構築をしていくことを想定しており、業者選定方法はプロポーザル方式を予定している。